



# 奈良県感染症情報

令和3年 第3週(1月18日～1月24日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- マスクの効果について
- 12月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.35	(1.21)	↑	↑↑	↑	→
2	A群溶連菌咽頭炎	0.44	(0.50)	→	↘	↗	↓
3	RSウイルス感染症	0.35	(0.15)	↑↑	↑↑	→	→
4	突発性発しん	0.26	(0.26)	→	↗	↘	↑
5	咽頭結膜熱	0.24	(0.15)	→	↘	↓	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症の報告状況について、感染性胃腸炎が増加しています。感染性胃腸炎は、手指や食品などを介して経口感染するので、流水と石鹼によるこまめな手洗いを励行し、患者の嘔吐物や糞便は適切に処理して、感染を広げないようにしましょう。また、前週から郡山保健所管内において、RSウイルスも増加しています。RSウイルスは、新型コロナウイルス同様、飛沫感染及び接触感染により感染するので、感染予防は、咳エチケットと手指衛生が基本となります。

第3週の県内の新型コロナウイルス感染症の新規報告者数は256名と増加が続いています。緊急事態宣言を受けて、奈良県では、感染拡大地域でのリスクが高い場所への出入りを控えるほか、家庭内でも「うつらない・うつさない」よう十分な用心を呼びかけており、改めて、感染拡大防止に向けた取り組みへのご協力をお願いします。

## ～マスクの効果について～

マスクの素材や、人と人の距離感等によって、マスクの効果には違いが生まれます。(※)ここでは御自身の目線で説明するため、便宜上、「飛沫を出す側:自分」「飛沫を吸い込む側:相手」と記載します。

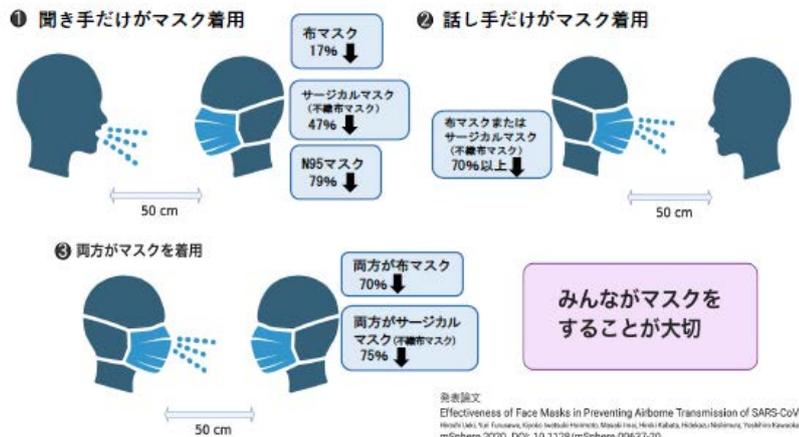
まず、マスクの素材ですが、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があります。もちろん、人の顔の形は千差万別ですので、同じ素材のマスクの間でも、自分の顔にぴったりとフィットしているマスクを選ぶことが重要です。また、マスクのフィルターのパフォーマンスや布の厚さなどによっても差が出ます。

次に、マスクは、相手のウイルス吸入量を減少させる効果より、自分からのウイルス拡散を防ぐ効果がより高くなります。

特に、室内で会話を行う場合は、マスクを正しく着用する必要があります。また、屋外ならばマスクは不要ということではありません。感染防止に必要な「最低1メートル」の間隔を確保できない場合もありますので、やはりマスクは重要です。自分から相手への感染拡大を防ぐために、話す時はいつでもマスクを着用しましょう。

### ○マスクの効果

東京大学医科学研究所のデータを基に内閣官房作成



発表論文  
Effectiveness of Face Mask in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2  
Hayashi, Y, et al. Frontiers in Public Health, 2020, 8:563121. DOI: 10.3389/fpubh.2020.563121

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 3 週 1 月 18 日 ~ 24 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	12 (0.35)		12 (1.33)					
咽頭結膜熱	8 (0.24)	1 (0.11)	1 (0.11)	2 (0.29)	1 (0.17)		3 (1.50)	
A群溶連菌咽頭炎	15 (0.44)	1 (0.11)	2 (0.22)	6 (0.86)	6 (1.00)			
感染性胃腸炎	80 (2.35)	20 (2.22)	16 (1.78)	11 (1.57)	31 (5.17)		2 (1.00)	
水痘	2 (0.06)	1 (0.11)		1 (0.14)				
手足口病								
伝染性紅斑								
突発性発しん	9 (0.26)	4 (0.44)	1 (0.11)	1 (0.14)	2 (0.33)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	2 (0.06)	2 (0.22)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	5 (0.50)	1 (0.33)		4 (2.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(中和3、内吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和1)
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(中和1)、梅毒1件(中和1)

❖ 第3週のトピックス ❖

◆ 県対策本部会議「新型コロナウイルス感染症対策 1年の振り返りと今後の重点取組」(令和3年1月26日)

<http://www.pref.nara.jp/57574.htm>

◆ 感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の新規変異株について(第5報)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/10144-covid19-34.html>

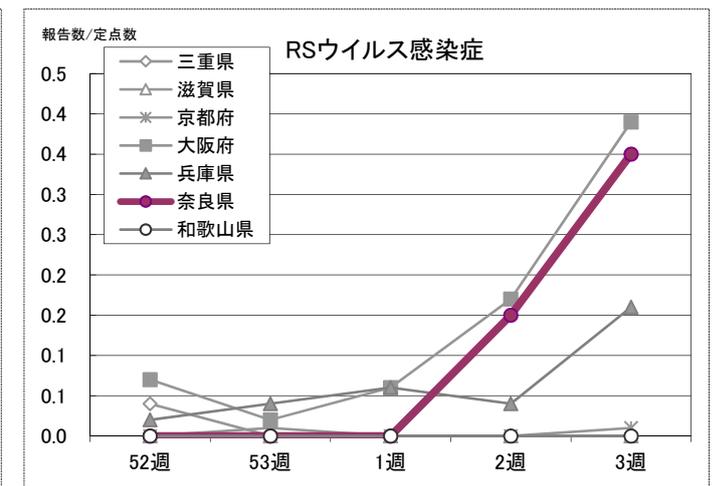
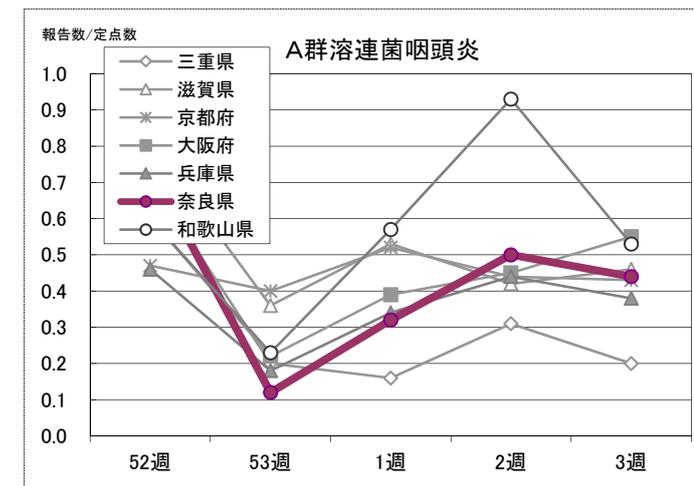
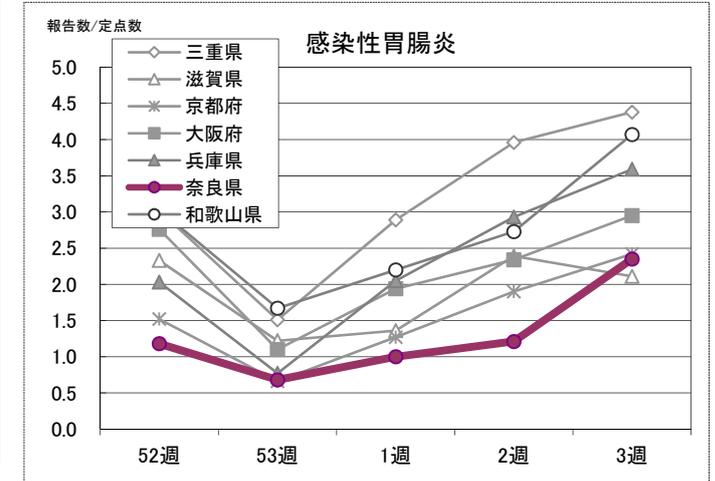
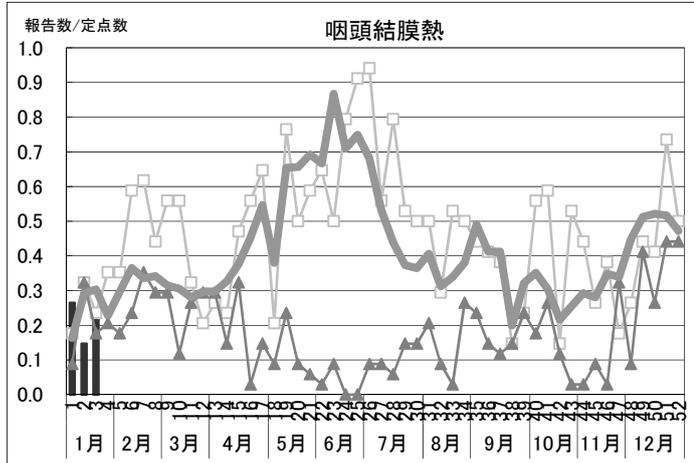
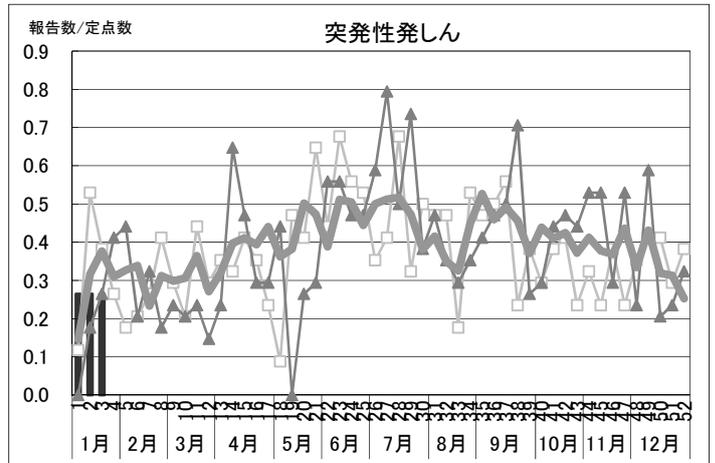
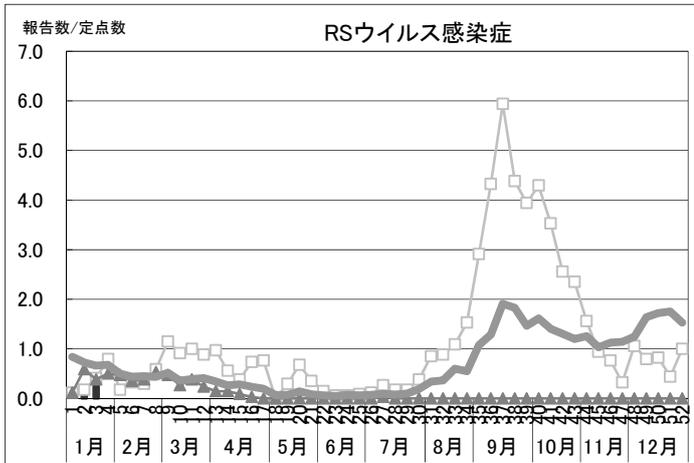
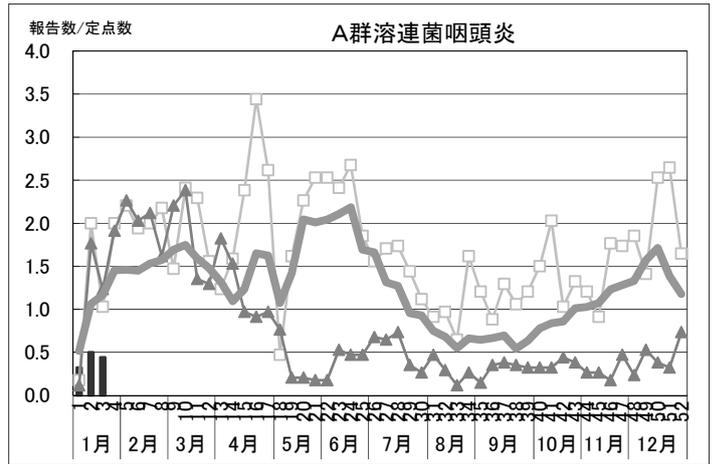
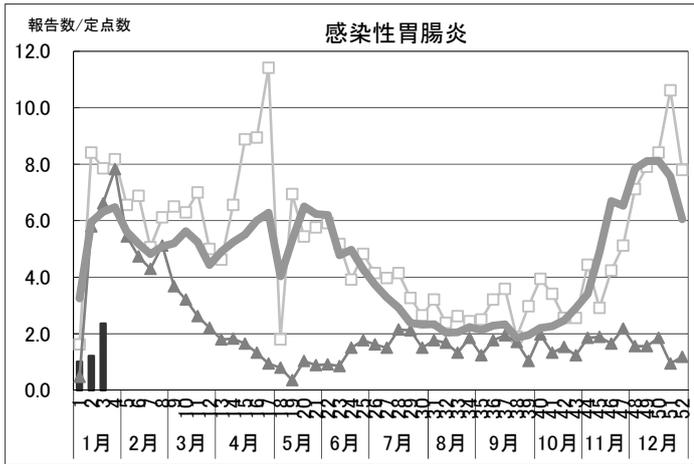
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																							
RSウイルス感染症	男女		1		4	2	2															4	6	
咽頭結膜熱	男女			2	2	1	1				1	1										6	14	
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	1	1	1	2	2			1										9	26	
感染性胃腸炎	男女		2	8	8	4	5	2		1	2	2	4	1	2							41	90	
水痘	男女			1																		1	5	
手足口病	男女											1										1	6	
伝染性紅斑	男女																						1	
突発性発しん	男女		1	3																		4	10	
ヘルパンギーナ	男女		3	1	1																	5	17	
流行性耳下腺炎	男女						2															2	3	
急性出血性結膜炎	男女												1		1	1						3	5	
流行性角結膜炎	男女													1	1	1						2	3	
細菌性髄膜炎	男女																						1	
無菌性髄膜炎	男女																							
マイコプラズマ肺炎	男女																						1	
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						1	

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 12 月

	奈良県		北部		中部		南部		上段：報告数													累計は、2020年1月からの累計					
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64			65-69	70-	合計	累計
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0	0																				
性器クラミジア感染症	16 (1.45)	4 (1.33)	7 (2.33)	2 (1.00)	3 (1.00)	...	...	男					1	3	3	3	2								12	88	
						...	女						3	1										4	95		
性器ヘルペス	5 (0.45)	3 (1.00)	1 (0.33)		1 (0.33)	...	...	男								1								2	10		
						...	女					1							1				3	53			
尖圭コンジローマ	1 (0.09)	1 (0.33)				...	...	男									1							1	14		
						...	女																1	21			
淋菌感染症	3 (0.27)	1 (0.33)	1 (0.33)		1 (0.33)	...	...	男								1								2	43		
						...	女																1	6			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	27 (4.50)	8 (8.00)	7 (3.50)	8 (8.00)	4 (4.00)	...	...	男	2	1		1								2	2		1	2	7	18	261
						...	女																	1	2	9	157
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症						...	...	男																			8
						...	女																				9
薬剤耐性緑膿菌感染症						...	...	男																			1
						...	女																				1

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

